

平成27年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	自然科学館を利用した学芸員養成学生の能動的学習支援	
実施組織 (または対象のカリキュラム)	自然科学館, 理学部	
※連携する他学部・機関がある場合は記入	人文学部, 全学教育機構, 野尻湖ナウマンゾウ博物館	
実施責任者(所属)	山田 桂 (理学部)	
取組の目標	学芸員資格取得を目指す学生を対象にし, 収集・保存, 展示, 教育普及等の具体的な博物館活動を展開する知識・技能を身につけさせる。	
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	1. 自然科学館を定期的に開館し, 学芸員を目指す学生らが自由に自然科学館を利用できるようにした。 2. 8月上旬に開催された自然シリーズへ参加し, 学芸員の職務を疑似体験した。 3. 10/29以降, 6回にわたり自然科学館ゼミを開催し, 自然科学館の展示改善および運営に携わった。(参加学生 8名) 4. 長野市歴史館の福島学芸員に自然科学館ゼミに参加してもらい, アドバイスと指導を頂いた。	
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望 (達成の度合いを選び, そう評価する理由と今後の展望を記述)	a. 達成できた b. おおよそ達成できた c. 半ば達成できた d. おおよそ達成できなかった e. 達成できなかった	(そう評価する理由) 学芸員を目指す 8名の学生が自ら積極的に自然科学館ゼミへの参加を希望し, 6回の活動を通して展示の改善や博物館活動を展開する知識や技能を身につけることが出来た, (今後の展望) H28年度も継続して自然科学館ゼミを開催予定である。今年度はより細かな部分の展示改善に, 学生とともに着手していきたい。